

シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目5-6

No.21 2025.9

ホームページ：<https://www.mics.ne.jp/~ono511/senior.htm>

清流に輝けひろがれ長寿の輪

第37回全国健康福祉祭りふ大会

ねんりんピック岐阜 2025

3年ぶりオリエンテーリング実施

10月18日(土)～10月21日(火)

2022年の神奈川大会から3年ぶりにオリエンテーリングが実施される。会場は下呂市。皇樹の森周辺 四美の森特設コース。



(ねんりんピック岐阜 2025 の Web サイトより)

18日午前10時から総合開会式が行われる。場所は岐阜市の岐阜メモリアルセンター長良川競技場。右下の写真のように行われると思われる。

競技について

4月1日時点の要項ではポイントオリエンテーリングで行う。

- ① 1～5人を1チームとし、それぞれの技量に合致するL,M,Sのクラスに参加する。
- ② 各チームで成績のよかった3人のタイムを基本とし、チームごとにポイントを計算する。

- ③ LでのポイントはM,Sでおポイントより優位になるようアドバンテージポイントを与える。
- ④ 完走できた選手が3人に満たなかったチームにはハンディポイントを課す。
- ⑤ ポイントの詳細な計算方法は後日公表する。具体的にどのようなになるのか、予測が難しい。

尚、神奈川、和歌山のねんりんピックでは選手は3人。L,M,Sの3コースに1人ずつ割りあて、順位に応じてポイントが付与される。3人の合計ポイントでチーム順位を競う。尚、失格の場合は参加点があたえられた(参加点については和歌山の場合であるが、神奈川も同様と推定する)。

神奈川、和歌山のポイント算出方法は簡潔でわかりやすかった。



(ねんりんピック岐阜 2025 の Web サイトより)

併設大会での配慮に感謝

ねんりんピック岐阜の併設大会として公認大会が開催されるが、60 歳以上はオープン参加となる。ねんりんピックと比べて、今でも公認大会を高く評価するオリエンティアが多い中、公認大会を実施すればねんりんピックより公認大会を選択する人が続出し、肝心のねんりんピック参加者が激減する恐れがあった。私も 2021 年に開催予定だった時からその危惧を岐阜県協会に訴えてきた。

岐阜県協会と下呂市の相談の結果と思うが、今回の判断は素晴らしものと評価する。

そのせいか、約 90 名のエントリーがあったと岐阜県協会から聞いており、チーム数にして約 30 チームになり、和歌山や茨城の大会が 20 チームに満たなかったことを考えると大幅増である。しかし、出場枠が 70 チームあるのに半分以下のエントリーでは主管していただく市町村に大変申し訳ない気持ちです。

今後のねんりんピック

来年のねんりんピックは埼玉県で開催されるが、残念なことにオリエンテーリングは実施されない。埼玉県オリエンテーリング協会によると、過去の他県で開催されたねんりんピックで、参加者募集を行ったが、ひとりも集まらず不参加となり、埼玉県のねんりんピック担当部署からは、参加すらできない状態と判断されているようで、そこから実施種目から外されたようです。

また、2027 年度年については従来とは異なるやり方となると、厚生労働省の Web に表現されて

います。具体的には全くわかりません。2028 年度は東京が開催県となっていますので、オリエンテーリングが実施されることを期待したいと思います。

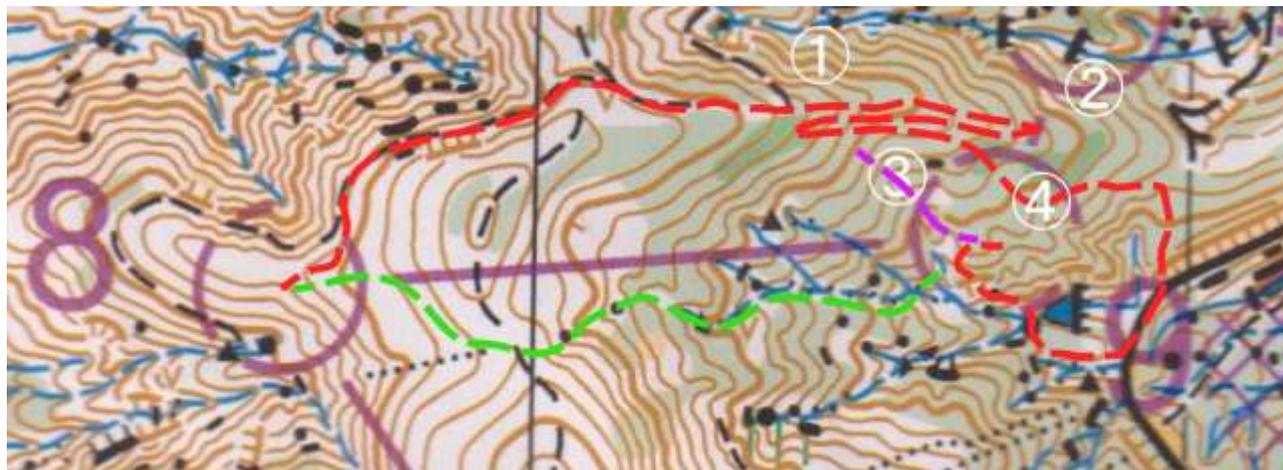


和歌山大会総合開会式式場近くに設けられたお土産ブース



和歌山県大会総合開会式スタンドの愛知県選手団

8⇒9



上の図のようによく地図が見えていたら失敗はなかったかもしれないし、コンパスのルーペを使っていたら、地形が見えたと思う。

8 番を離れるときに見た 9 番は薄グリーンの中の沢で東の尾根を越えて、沢を下ってアタックするルートは地形が複雑に見え、簡単にたどれると思えなかった。

そこで、北の尾根から、沢を南東へ下るルート考えた。しかも、その尾根に行くためにはやや不明瞭ながらもコンタリング気味に小径がある。そして尾根にでたところで尾根を下り、北西に下りる小径の始まりから、少し下り、パープル破線(③)で示した沢を南西に下るプランであった。

ところがまず、北西へ下る小径の起点(①)が見つからず、かなり下ってしまい、正確な現在地がわからなくなった(②)ので尾根を戻り、北西

に下る小径の起点と思われるところから尾根南側の地形を見ながら、尾根を下り、沢へ入り下る。そのうち、地図と照合できない狭く急な沢(たぶん④)に出くわし、現在地が急にわからなくなる。

(パープル破線を下が急斜面の上をコンタリング気味に東に進む。下の斜面が緩やかになったところで、斜面を下ったところ舗装路が見え、その舗装路の曲がり具合から、現在地が判明する。土ガケ脇を下り、舗装路に出て、池の南の尾根を登り、池の西を川を渡り、北へ沢(コントロールのある沢と思っていたが、実際は一つ西の沢)を登り、人の動きを見て、西へ移動し、ようやくコントロールへ。

地図を拡大して、よく見れば、グリーン破線で示したルートが見え、小川の分岐をチェックポイントにして、進めたと思われる。

思い出のオリエンテーリング 読売新聞社

昭和50年ごろ、東日本大会とか中部日本大会とか、JOAL公認大会の中でも大きな大会にもよく出かけた。これらの大会の主催者については当時、あまり認識していなかったが、読売新聞社が(社)国民健康づくり運動協会とともに主催者

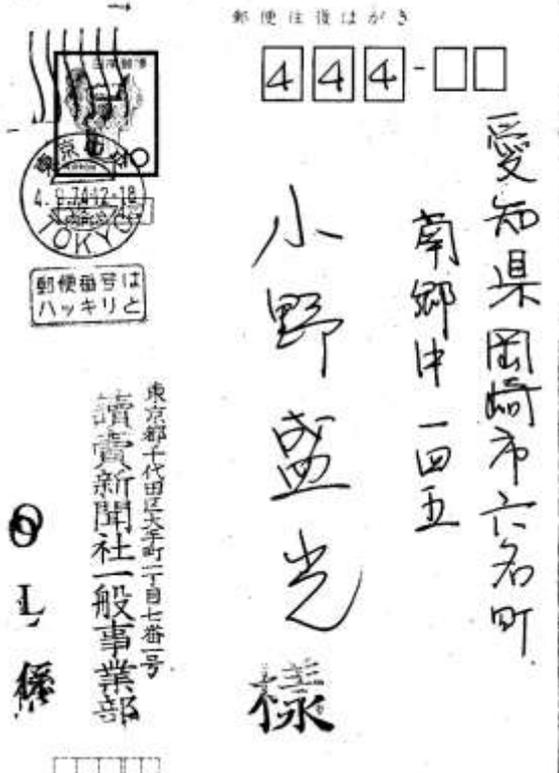
になっていた。

私が参加した昭和49年9月19日に埼玉県高麗で開催された東日本大会、昭和50年11月23日に岐阜県美濃加茂市で開催された中部日本大会や昭和50年12月7日に広島県福山市

で開催された西日本大会、昭和51年11月23日に鳥根県大田市で開催された西日本大会、昭和51年11月28日に千葉県山武郡で開催された東日本大会、昭和52年11月23日に鳥取県関金町で開催された西日本大会、である。

読売新聞社は昭和48年に1万人の参加者があった読売全国大会が有名であるが、前記の東日本大会や西日本大会は冠大会でないため、主催者を認識することはあまりなかった。

当時、新聞社は名義主催ではなく、事前申込の受付など実務をこなしており、それを示す貴重な資料が見つかった。参加申込みは往復はがきで行っていた。掲載したはがきは、私が参加申込を行い、返信された返信ハガキである。差出人が読売新聞社一般事業部OL係となっている。OL係の方は裏面に注意事項や交通案内を印刷し、参加者に返信するとともに参加者名簿を作成する。当然参加者名簿の整理や当日の受付などもあり、なかなか大変だったと思われる。



東日本OL大会参加注意事項

- 本状を第一受付に提出して下さい。
 - 中止の決定…大会当日は小雨決行。中止の決定は15日朝6:30ごろ読売新聞社交換台(03-242-1111)へお問い合わせ下さい。
 - 集合場所・受付時間…西武鉄道池袋線/高麗駅前、午前8:30~10:30まで
- (電車時刻表)
- | 東武 (池袋発) | (所沢) | (高麗) |
|----------|-------|-------|
| 急行 7:14 | 7:39 | 8:08 |
| 7:35 | 7:59 | 8:31 |
| 7:55 | 8:19 | 8:47 |
| 8:15 | 8:39 | 9:13 |
| 8:35 | 8:59 | 9:27 |
| 8:55 | 9:19 | 9:48 |
| 9:35 | 9:59 | 10:27 |
| 9:55 | 10:19 | 10:47 |
- 持参品 徒歩OL—赤ボールペン、軽食、水筒、雨具、着がえ、服装は長袖シャツ、長ズボン、運動靴などハイキングのできるようなもの。
他人OL—赤ボールペン、コンパス、服装は走れるようなもの(更衣所は準備してあります)
 - コンパスの貸出し 徒歩OL参加者のみで1パーティー1コですが、数に限りがありますのでなるべく持参下さい。
 - 地図 大会前日に差し上げます。
 - 自家用車利用の方へ 会場付近には駐車をする場所がありませんので、なるべく電車をご利用下さい。

尚、参加料は昭和52年度西日本大会で事前申し込みの個人は500円、徒歩OLは1人150円でした。

昭和53年以降になると要項などを保存していなく、読売新聞社が主催であったという裏付け資料が見つからない。このころから朝日新聞社がオリエンテーリングへの参画を深めていったと思われる。